



“NEXT STAGE!”



浦添高校2年目、校長職2年目の上原源三です。

昨年度から始めたこの「校長だより」のタイトルにもなっている「NEXT STAGE!」は浦添高等学校創立50周年記念にうたわれた「進化する浦添高校 NEXT STAGE」からの引用です。今年度も生徒及び保護者のみなさま等に伝えたいことを中心に発行していく所存です。ご愛顧のほどよろしく申し上げます。

～新入生諸君!入学おめでとう!!～

改めまして新入生のみなさん入学おめでとうございます。

浦添高校は入試の競争率が高い学校として認知されています。平成30年度入試においても、推薦で58名、一般で35名の受検生が涙をのみました。浦添高校で頑張りたいと願って受検してくれたみなさんの気持ちを考えると、校長として胸が締め付けられる思いです。

そこで新入生諸君に是非お願いしたいことがあります。それは初心を忘れることなく頑張りたいということです。合格発表の日にどういった気持ちで浦添高校の門をくぐったか。自分の番号を確認したときの感動や達成感。支えてくれた家族や先生方への感謝の気持ち……。それぞれ様々なことを感じたはず。その時感じた感情を大切に、浦添高校で精一杯頑張りたいと思います。

高校時代はあっという間に過ぎていきます。中学校とは違う一つひとつの出来事を大切にして、たくさんの友人たちと切磋琢磨し、より美しいもの、より素晴らしいもの、より価値のあるものに向かってひたむきに努力して欲しいと願っています。

高校時代が本当に楽しかったと言える学校生活になることを全力で応援しています。
校長

～全国大会準優勝～

我らが女子ハンドボール部がとんでもない快挙を達成しました。全国高校選抜大会で見事に準優勝を勝ち取りました。3月28日(水)に決勝へ駒を進めたということで、私も急遽神戸まで応援に行きました。

29日の決勝戦は壮絶な闘いでした。相手の大分高校は九州大会決勝で戦った相手。お互いに手の内を知り尽くした相手だけに緊張感のある試合でしたが、浦高はエースの伊波優里が故障のためフル出場できませんでした。しかし、そんな状況でもこれまで通りの全員ハンドボールで、最後の最後まで勝利に向かって戦いました。

監督の佐平先生、コーチの神谷先生本当にお疲れ様でした。ここまで鍛え上げた努力の賜だと思えます。また、女子ハンド部のみなさん本当によく頑張りました。

監督、選手共に「準優勝では満足していない」というコメントを聞いて、「浦高魂」を見たような気がします。今後とも精進し、是非念願の「てっぺん」を! 校長

*** 校長紹介 ***

1963年生 うさぎ年、乙女座、A型(女子力高そう!)
学歴: 鏡原中、小祿高校、中京大学法律学部法律学科卒
職歴: 那覇高校教諭(5年)、名護高校教諭(4年)
教育庁県立学校教育課(7年)、文部科学省(1年)
知念高校教頭(3年)、真和志高校教頭(2年)
教育庁学校人事課(2年)、浦添高校校長(2年目)

～凡事徹底～

いよいよ新学期の始まりです。新1年生を迎え、1年生399名、2年生402名、3年生396名、合計1197名の新たな挑戦が始まります。

今年度のキーワードとして「凡事徹底」を付け加えたいと思います。「当たり前のことを徹底してやる」「当たり前のことを当たり前のように行う」という意味です。あいさつをする。時間を守る。約束を守る。制服を着る・・・etc.

言い換えると「基本的な生活習慣を身につける」ということになると思います。浦添高校さらなる発展のために“凡事徹底”の協力よろしくお願いします。

校長

～時の言葉～

あなたが生まれたとき、
周りの人たちは笑って、あなたは泣いていた。
だから、あなたが死ぬときは、
あなたは笑って、周りの人たちは泣いている。
そのような人生を生きなさい。

(ネイティブアメリカンの言葉)

私の「座右の銘」です。人としての生き方、在り方を考えさせる素敵な言葉です。
校長